

資料 1 - 1

令和 7 年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）を活用した事業の効果検証について

・オール門真による「ものづくり」ブランディング事業



門 真 市

Kadoma City

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

▶ 新しい地方経済・生活環境創生交付金とは

- 令和6年10月1日に石破内閣が発足し、「地方こそ成長の主役」との発想に基づき「地方創生2.0」が起動。
- 地域再生制度による国の支援制度として、自由度の高い事業を行うことができる地方創生交付金として「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」が創設。
- これにより、地方創生交付金は「デジタル田園都市国家構想交付金（デジ田交付金）」から第2世代交付金に移行。
- 門真市では、令和5年度から【産業分野】でデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用し、以下の取組を実施している。

▶ 対象事業

事業名	オール門真による「ものづくり」ブランディング事業
計画期間	令和5年度～令和9年度
総事業費	20,590,011円（交付金充当額：10,295,005円）（令和7年度実績）
概要	本市の基盤産業である多様な「製造業」の活性化、特に域外からの受注・域内受発注の連携、高付加価値型企業への転換、新たな製造業の誘致やスタートアップの促進により、域内所得及び雇用者数の増加につなげ、域内経済の好循環による経済成長、関係人口の増加を目指す。 また、企業の利益率向上により、賃金所得が増加することで、人口減少局面においても市民が幸福な生活を送り、持続可能なまちとなることを目指す。
取組詳細	① 製造業としての「門真ブランド」の発信事業 ② 「製造業で働く」魅力の向上と発信事業 ③ 「オール門真」での連携支援体制の構築事業
K P I	① 市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額 ② 支援を実施した事業所における従業者増加数 ③ 支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数 ④ 支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

取組詳細

01 製造業としての「門真ブランド」の発信事業

関連するKPI

- ①市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額
- ②支援を実施した事業所における従業者増加数



総事業費

18,790,805円（交付金充当額：9,395,402円）

事業概要

市内中小企業の顧客となる市外の手企業等に対し「門真ブランド」を打ち込み、業界内でのプレゼンスを高めることを主眼とし、本市が製造業におけるビジネス環境が優れている事実を中心にPRする。

本市が行政間の交流を持つ「東京都大田区」や「大阪府八尾市」のように、ものづくりの街としてのブランドを域外に発信・確立することで、受注の獲得、産業の誘致など、地域経済の活性化に寄与することをめざす。

令和7年度 実施内容

第28回機械要素技術展大阪への出展

期間：令和7年10月1日(水)～3日(金)

会場：インテックス大阪

本市を代表するものづくり中小企業「カドマイスター企業(※)」16社（会場出展15社、オンライン出展1社）が市内のものづくり企業を代表する企業群として出展。優れた技術や製品等をPRし販路拡大・事業拡大へつなげた。

また、人的・時間的リソースが割けないことを理由に当日展示会場でPRできない企業向けに、オンラインにより会場と企業をつなぎ、カドマイスター企業であればどの企業でもPRが可能な仕組みで実施した。

※卓越した技術や製品等を有する市内企業を認定する制度。

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

取組詳細

02 「製造業で働く」魅力の向上と発信事業

関連するKPI

- ②支援を実施した事業所における従業者増加数
- ③支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数
- ④支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数



総事業費

1,757,000円（交付金充当額：878,500円）

事業概要

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、企業の人手不足は厳しさを増し、特に中小製造業は人材確保に苦慮している。
市内中小企業がスムーズに人材を確保し、かつ、女性、シニア、外国人、障がい者といった多様な人材が定着、活躍できるようにハード及びソフト両面において、労働環境整備への取組みに対し補助金による支援を行う。

令和7年度 実施内容

門真市「職住近接のまち」実現のための企業魅力アップ 事業補助金の実施

補助金交付実績

種別	件数	補助事業内容	補助額(円)
労働環境整備事業	3件	アシストツールの導入、 男性の育児休業取得、 事務所のバリアフリー化	714,000
企業の魅力向上・発信	12件	求人用会社案内製作、オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加費	973,000
カーボンニュートラル	1件	中小企業版S B T 認証取得	70,000

補助対象者

中小企業基本法に第2条第1項各号に掲げる中小企業者のうち、製造業に含まれる事業を営む会社及び個人で、下記のいずれの要件も満たす者

- (1) 本市の区域内に事業所を有する者
- (2) 市税の滞納がない者

補助対象経費・補助額

	種別	対象経費	補助率等	補助金 上限額	R7 実績	件数 補助額
1	労働環境整備事業 【一般】	休憩室及び食堂の整備、アシストツール等の導入、福利厚生等に要する経費	1/2(カドマイスター認定企業の場合は2/3)	200,000円	-----	1件 64,000円
2	労働環境整備事業 【多様性①】	バリアフリー化、多言語対応、女性従業員専用設備の導入等に要する経費	2/3(カドマイスター認定企業の場合は3/4)	500,000円	-----	1件 500,000円
3	労働環境整備事業 【多様性②】 (男性の育児休業取得)	男性の育児休業取得 (所定労働日が9日以上含まれている14日以上 の育児休業を取得、その後職場復帰すること)	1人当たり 150,000円	300,000円	-----	1件 150,000円
4	企業の魅力向上・発信 【一般】	動画等広報媒体の作成、地域活動、顕著なSDGsの推進、オープンファクトリー実施に係る費用等、「魅せる工場」実現のために要する経費	1/2(カドマイスター認定企業の場合は2/3)	200,000円	-----	12件 973,000円
5	企業の魅力向上・発信 【人材】 (インターンシップの受入)	インターンシップの受入 (1日当たり5時間以上)	1人当たり 1日につき 8,000円	160,000円		実績なし
6	カーボンニュートラル 【省エネ最適化診断】	省エネ最適化診断（市が指定する機関が実施する省エネルギーのための診断および改善提案（伴走支援を含む。）をいう。）に要する経費	1/2(カドマイスター認定企業の場合は2/3)	20,000円		実績なし
7	カーボンニュートラル 【脱炭素認定等取得】	脱炭素認定等取得に要する経費	1/2(カドマイスター認定企業の場合は2/3)	70,000円	-----	1件 70,000円

	種別	事業内容	補助率等	補助金額
1	企業の魅力向上・発信 【一般】	求人用会社案内製作	2/3	200,000円
2	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	73,000円
3	カーボンニュートラル 【脱炭素認定等取得】	中小企業版 S B T 認証取得	2/3	70,000円
4	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	58,000円
5	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	73,000円
6	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	73,000円
7	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	58,000円
8	労働環境整備事業 【一般】	アシストツール（昇降台車）の導入	1/2	64,000円
9	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	88,000円
10	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	58,000円

	種別	事業内容	補助率等	補助金額
11	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	73,000円
12	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	73,000円
13	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	73,000円
14	企業の魅力向上・発信 【一般】	オープンファクトリーイベント 「FactorISM2025」への参加	2/3	73,000円
15	労働環境整備事業【多様性 ②】男性の育児休業取得	男性の育児休業取得（1名）	1人当たり 150,000円	150,000円
16	労働環境整備事業 【多様性①】	事務所のバリアフリー化	2/3	500,000円

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

取組詳細

03 「オール門真」での連携支援体制の構築事業

関連するKPI

- ①市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額
- ②支援を実施した事業所における従業員増加数
- ③支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数
- ④支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数

総事業費

42,206円（交付金充当額：21,103円）

事業概要

今後の製造業をはじめとした中小企業支援は、DX、GXなど次々と表出する課題への対応、スタートアップや事業承継の促進など、地域一体となった支援体制、並びに本市の基盤産業である製造業に特化した計画的な支援計画、その実施体系の共有が必要であることから、国・大阪府・金融機関等、一体的な支援体制を構築するとともに、計画的な製造業振興施策を推進し、本市産業、経済の発展を図る。

令和7年度実施内容

門真市ものづくり産業振興計画アクションプランの策定

令和5年度に策定、5年間を計画期間とする門真市ものづくり産業振興計画の着実な推進を図るための「門真市ものづくり産業振興計画アクションプラン」を策定した。

門真市ものづくり産業振興懇話会の開催

産官学金をメンバーとした、ものづくり産業の振興のために必要な事項について調査審議する、「門真市ものづくり産業振興懇話会」を実施した。

門真市ものづくり産業振興懇話会 委員

国（近畿経済産業局）、大阪府、市内企業（4社）、地域金融機関、商工会議所、学識経験者



令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

KPI

①

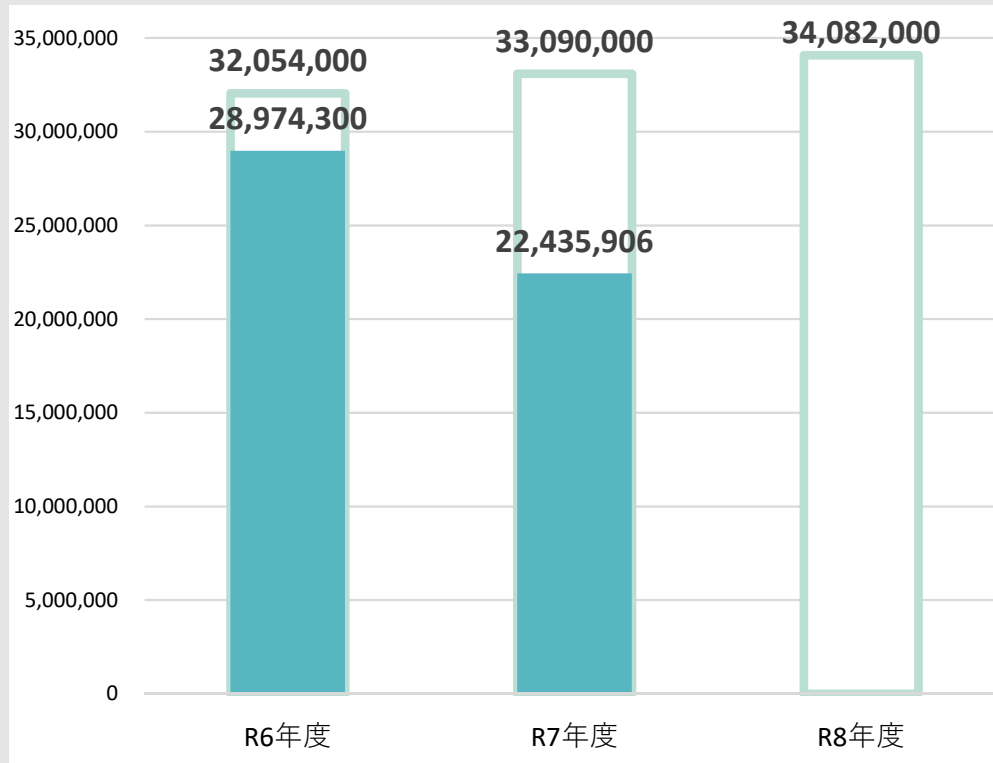
市外から門真市に対する
新規マッチングによる成約金額

実績値（令和7年度）：22,435,906円

未達

（単位：円）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R8年度)
0	32,054,000	33,090,000	34,082,000



担当課効果検証結果

- 第27回機械要素技術展大阪（令和7年10月1日～3日）に、市内企業16社（会場出展15社、オンライン出展1社）で門真市ものづくり企業群として合同出展。
- 本市ブースへの来場者数は3日間で3,095名。各出展企業毎に活発な商談が行われた。
- ブース内では、カドマイスター企業69社を掲載したパネル掲示や、本市のもつポテンシャル（交通利便性、豊富な周辺人口、濃密な産業集積とその連携関係、層の厚い支援等）をPRし、「ものづくりのまち」としてのブランド醸成を図った。
- 令和7年度（※令和8年1月調査）では目標値には到達しなかったが、令和5年度及び6年度における同時期の調査時より、成約金額は上がっている。企業への聞き取りによると、展示会出展から取引の確定となるまで、見積の提出など時間を要するとのことであり、令和8年度中に追加調査を実施する予定。
- 令和8年度においては、同じ出展面積の中に、より多くの企業が現地出展できるようレイアウトを工夫するとともに、オンライン出展についても企業の事業内容を積極的に紹介するなど、商談機会を増やす仕組みを検討するなどにより成約金額の増加につなげたい。

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

KPI

②

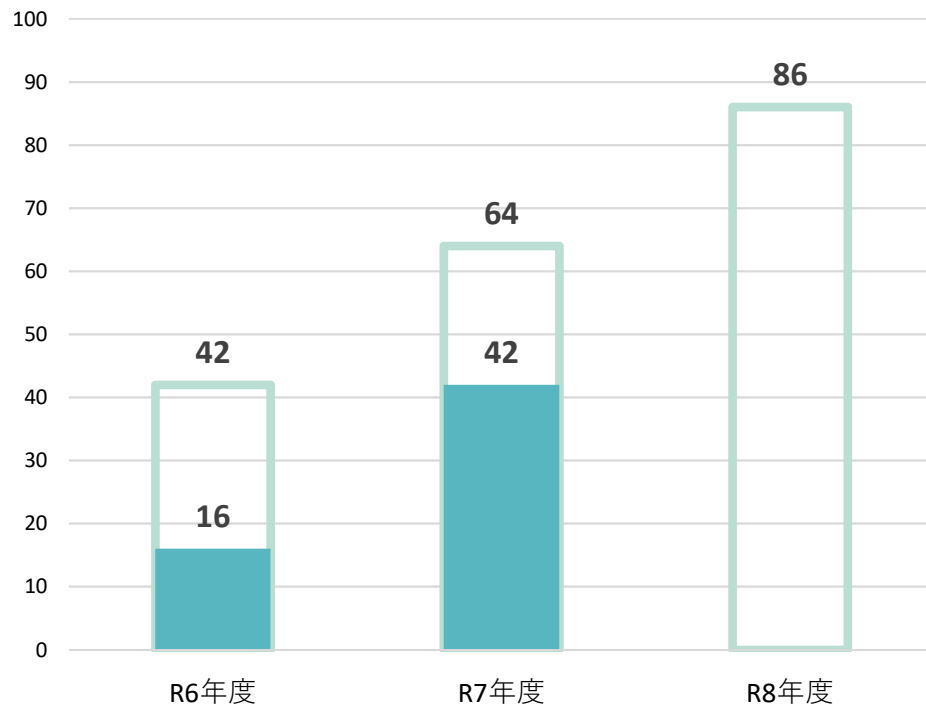
支援を実施した事業所における
従業員増加数

実績値（令和7年度）：42人

未達

（単位：人）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R8年度)
0	42	64	86



担当課効果検証結果

- 門真市「職住近接のまち」実現のための企業魅力アップ事業補助金により、16社（16件）の支援を実施。
- 事務所のバリアフリー化、アシストツールの導入といった設備整備等のほか、男性の育児休業取得、人材確保のための求人用会社案内の作成からオープンファクトリーの実施など魅せる工場実現のための費用、さらに企業の魅力・価値向上に資するカーボンニュートラルへの取り組みへの補助など、多角的なアプローチで、企業の人材確保・定着を見据えた取組に対する支援ができた。
- 支援を実施した事業所全体での新規雇用者数は75人で、男性59人・女性16人であり、多様な人材の確保につながったと認識している（なお、離職者等が33人いたため、KPIの増加数は42人となっている）。
- 少子高齢社会の進行により売り手市場が進み、とりわけ中小企業にとって人材確保はますます厳しくなるものと見込まれるが、多様な人材の確保・職場環境の整備に積極的に取り組む事業者への支援を継続するとともに、本事業で創出したロールモデルの積極的な展開により、全体への波及をめざす。

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

KPI

③

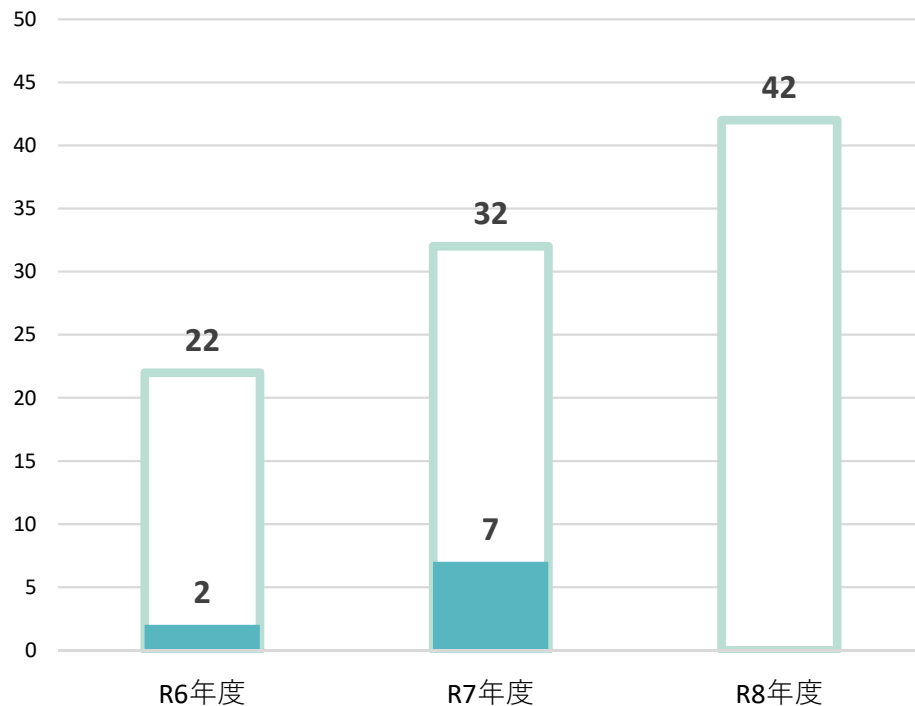
支援を実施した事業所における
インターンシップ受入れ増加数

実績値（令和7年度）：7人

未達

（単位：人）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R8年度)
0	22	32	42



担当課効果検証結果

- 企業ヒアリング等を通して、中小企業へのインターンシップを希望する学生の絶対数が少ないことがわかった。また、学校へのヒアリングでは、インターンシップを希望する学生は一定いるものの、大手指向、中小企業の企業情報等が把握しづらい等の理由により、インターンシップ先としての検討が難しいことが判明した。
- インターンシップの応募に際して、「大学コンソーシアム大阪」のキャリア支援プログラム経由が主流となっていることから、企業に対して同プログラムへの登録を推奨しつつ、学校との意見交換等の機会を活用し市内企業へのインターンシップ促進を図っていききたい。
- 6年度より「職住近接のまち」の実現に向けた企業魅力アップ事業補助金の補助事業の一つとして拡充した、企業によるSDGsの取組、特に製造業の脱炭素化の支援により、企業のSDGs達成への取組を後押しするとともに発信することで、学生に選ばれるような企業の魅力向上をより効果的なものとする。大学からは、学生が企業選択においてCSRやSDGsの取組を重視する傾向があるとの声があり、こうした支援はインターンシップ受入れの促進や就職につながるものと考えられることから、引き続き中小企業の魅力向上とインターンシップ機会の創出に取り組む。

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

KPI

④

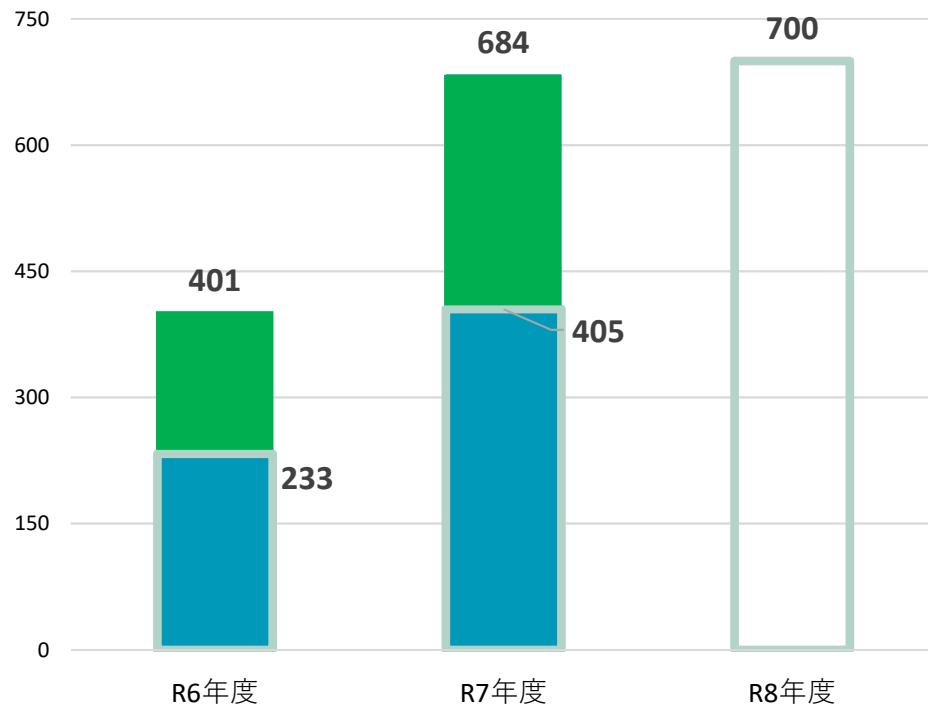
支援を実施した事業所における
一般見学者の受入れ人数

実績値（令和7年度）：684人

達成

（単位：人）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R8年度)
0	233	405	700



担当課効果検証結果

- オープンファクトリーイベント「FactorISM（ファクトリズム）」（令和7年10月23日～26日）への参加企業は12社であった。
- 各企業が工場見学やワークショップを開催するなど、企業の事業内容のPRや、ものづくりの魅力を一般の方に伝えることができ、目標（405人）を大幅に上回る684人に来場していただくことができた。
- 2025年の大阪・関西万博への出展等により増加したオープンファクトリー開催企業への見学者が、再度見学に訪れるようにしていくとともに、新規の見学者を増加させるため引き続きオープンファクトリーの取組みを進めていくことが重要であると考えられる。
- 市内企業とものづくりの魅力をPRし、多くの一般見学者に来場してもらうために、見に行きたくなる、働きたくなるような職場や、製品をPRする「魅せる工場」実現のために門真市「職住近接のまち」実現のための企業魅力アップ事業補助金の実施により支援を継続していく。